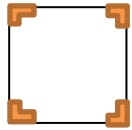
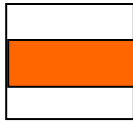

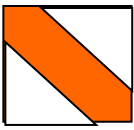


7. 本時のねらい

作品のモデルを丈夫にする方法を考え、検討する活動を通して、作品を丈夫にするには、三角形の構造にする、面の全体や一部を固定する、接合部を固定するという3つの方法があることを理解できる。

8. 本時の展開

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助 ・ 留 意 点
<p>課題を明確にする</p> <p>課題の解決策を考える</p> <p>課題に対する自分なりの解決策を考える</p>	<p>1. 製作にあたり貫く課題を確認する 丈夫にするための条件が整っていない作品を提示する。</p> <p>2. 本時の課題を提示する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> 丈夫な作品にするには、どうすればよいだろう </div> </p> <p>3. 収納棚のモデルを丈夫にするにはどんな工夫があるのかタブレットを使って各自で考える。 ・ 後ろに厚紙を貼り付ける。 ・ 角を補強するなど。</p> <p>予想される例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>ア</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>イ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ウ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>エ</p>  </div> </div> <p>ア 接合部を固定する イ 面を固定する ウ 面全体を固定する エ 三角形の構造にする</p> <p>4. スカイメニューで全員の考えを各自のタブレットに写し、仲間の考えを知る。</p> <p>5. 実際に丈夫になるか、モデルを使って、班ごとに厚紙で補強部品を取り付ける。</p> <p>6. なぜ丈夫なのか理由を考える。 ・ 角が変形しなくなったから。 ・ 横の板の支えができたから。 ・ 三カ所が固定されているから。</p> <p>7. 丈夫な作品にするには三角形の構造や、全体あるいは一部を固定すること、接合部を固定する方法があることに気づかせる。</p> <p>8. 今日学習したことが、身の回りにある建造物等に利用されていることを知る。</p> <p>9. 学習プリントに授業のまとめや感想を書かせ、授業の成果や次への課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>作品を丈夫にするには、三角形の構造を取り入れたり、板の一部を支えたり、接合部を固定したりすることがわかった。どんなところに使われているのか考えていきたい。また、自分が作品をつくる時には、作品にあった方法を取り入れて丈夫な作品にしていきたい。</p> </div>	<p>・ 作品モデルが横方向の力で倒れてしまうのを提示し、丈夫にする工夫が必要であることに気づかせる。</p> <p>・ 「中にものが入るようにする、「材料をできるだけ少なくする」という2点を指示することで、丈夫になる根拠が明確になるようにする。</p> <p>・ タブレットを使って自分の考えを記入し、スカイメニューで全員の考えをTVに写す。 ・ なぜ、その考えにしたのか根拠を聞く。 ・ 仲間の考えをもとに、本当に丈夫になるのかモデルを使って確かめる。</p> <p>・ 三角形のモデルを使ってその構造が丈夫にする方法のひとつであることを理解させる。</p> <p>・ 画像を使い、学習した内容が身近な建造物に使われていることを知る。</p> <p>・ 今日学習したことが、身のまわりの建造物に多く使われていることに気づかせ、学習したことと生活とをつなげる。 ・ 授業後の感想や学んだことの交流を通して、「自分が製作する作品を工夫したい。」という意識をもたせ、次時の授業内容へつなげていく。</p> <p>〈評価規準〉</p> <p>・ 作品を丈夫にするためには、三角形の構造を取り入れること、全体又は一部を固定すること、接合部の補強をすることがあることを理解している。</p> <p>【知・技】 〈評価方法〉 ワークシートのまとめ</p>